

# 平成24年度 事業報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日

特定非営利活動法人 皐月

## 1 事業の成果及び内容

### ① グループホーム（認知症対応型共同生活介護）事業

グループホームさつきの運営を開始して、平成24年度末で約9年半が経ちますが、本年度のグループホームさつきの入居率は99.1%（前年度比+5.2%）で、過去最高の入居率を記録しました。前年度にご利用者の入退居が重なり、ご利用者が入れ替わったことで、平成22年度末で要介護3.8（小数第二位を四捨五入）であった要介護度の平均が、本年度末には要介護2.7と軽くなっており、入居後、ご利用者が体調の不調を訴えられて入院されることがほぼなかった為、このような高い入居率となって現れました。

平成24年4月には、介護保険の見直しが行われましたが、グループホームにおいては、1ユニットと2ユニット以上のホームにおける介護報酬に差を設けること（2ユニット以上のグループホームにおける介護報酬単価の引き下げ）や、要介護度の軽いご利用者（要支援2、要介護1及び2）の介護報酬単価の引き下げ等が行われています。これまでの調査で、全国のグループホームにおいて収益率（利益率）の高かった部分の介護報酬の引き下げを行うことで、介護保険制度の維持に向け、それぞれのグループホームも引き締まった運営を迫られていると言えます。

ホームの運営を収支面で見ると、平成24年度は入居率99.1%という高入居率ではありますが、上記のような介護報酬の改定及びグループホームのご利用者の要介護度の軽度化を受けて、グループホーム事業収入は、前年度比220万円程の増加となっています。

一方、支出面では、本年度も人件費（アルバイト等の臨時雇賃金を含む給与・賞与、福利厚生費、法定福利費）が前年度比+3.8%程、水道光熱費は前年度比+3%程増加しています。また、高い入居率で収入が安定していた為、必要な修繕や消耗品等の購入を適宜行っていった結果、消耗品費、修繕費なども増加しており、グループホームに関する経常費用は約150万円の増加となっております。

ホームの運営を考えるにあたっては、よりよい介護を目指していく上で必要不可欠である職員の定着と幹部職員の育成を念頭に置きながらも、人件費の増加とバランスをとりながら運営して行く事が重要です。また、来年度は開設して10年を迎えることもあり、備品購入及び修繕費等の支出が増えることも考えられ、それらに備えていく必要があります。

本年度は冬場に感染性胃腸炎が流行し、ホームにおける感染症の予防及び対

策等について、対応策を再考しつつ取り組みを強化していく必要があった年でもありました。グループホームをご利用されているのは、抵抗力の弱い高齢者の方々ですので、今後もこれらのことに一層注意しながら、職員研修をより一層充実させ、ご利用者の健康状態や安全面にも充分留意して、お一人お一人に対するケアに最大限尽力した事業運営をおこなって参ります。

## ② 福祉・介護及び認知症に関する知識の情報発信事業

### ③ 福祉・介護関係者の育成事業

本事業に関しては、例えば、地域住民等も参加する運営推進会議にて、認知症についての知識やホームの状況報告等を含めた情報発信を行っていること、また、グループホームの職員が受けている介護研修等があげられ、①のグループホーム事業と一体的になされています。(本年度、グループホームと切り離れた事業としての実施結果はありません。)

### ④ 健康ストレッチ（文化活動事業）

前年度に引き続き、健康ストレッチ講座を高部、波止浜で実施しており、参加者の健康増進、介護予防対策に取り組んでいます。ご参加くださっている皆様からは好評を頂いております。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動事業

事業名	事業内容	実施日時 及び場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 の金額 (千円)
認知症対応型 共同生活介護	グループホームの運営	通年 グループホームさつき	11~16人	グループホーム 利用者：定員9名	39,075
文化活動事業	健康ストレッチ	毎週各一回程度 ・高部集会場 ・波止浜	1人	ヨガ・健康ストレッチ体操 に関心のある市民 各定員18名×2講座	432

## 3 会員に関する事項

(平成25年3月31日現在)

	個人会員数 (新規入会)	団体会員数 (新規入会)
正会員数	13 (2)	0 (0)
賛助会員数	2 (0)	0 (0)